



目的

介護職場の業務改善をすすめることで、介護職員の人材確保を図る。

課題・背景

生産年齢人口が減少し、働き手の確保が難しくなる一方、高齢化に伴い介護サービスの需要が高まるなど、大きく社会構造が変革している状況下で、ケアの質を確保しながら必要な介護サービスの提供体制を維持していくことが求められている。ICT・介護ロボット等の活用は、こうした課題解決の一助となることが期待される。

事業のポイント

移乗介護や見守り等の場面で使用され、センサー等により外界や自己の状況を認識し、これによって得られた情報を解析し、その結果に応じた動作を行うロボット技術を活用して、従来の機器ではできなかった優位性を介護分野で発揮するロボットを補助・無償貸与の対象としている。

期待される効果

★ 介護従事者の身体的負担軽減や業務の効率化が図られ、介護従事者の離職防止・就業促進に資することが期待される。

推進体制

補助事業の対象者

介護サービス事業者の指定を受けた北海道内に所在する事業所

普及推進事業委託先

令和3年度介護ロボット普及推進委託コンソーシアム
（（社福）北海道社会福祉協議会・（株）マルベリー）

概要

介護ロボット導入支援事業費補助金（令和3年度 80,535,9千円）

事業概要：介護ロボット等の導入を行う事業所に対して、導入費用の一部を補助する。
令和2年度補助実績：311事業所

介護ロボット普及推進事業（令和3年度 12,724,8千円）

事業概要：全道4か所に介護ロボット普及推進センターを設置し、介護ロボットの展示や無償貸与等を行い、介護ロボット等の普及を図る。



担当者より

ケアの質を高め、働きやすい職場となるよう事業に取り組んでいます。

お問い合わせ

保健福祉部高齢者支援局高齢者保健福祉課
hofuku.kouhuku | [アット]pref.hokkaido.lg.jp